



零

紅の記憶

ぜろ
くれなゐ
のきおく











おねえちゃん・・・



いつも 約束してたよね



み
お
ー

み

みお
滞り！



まあゆっ！
朝早くだったん
だから少したん
も少したのげれ
ばよかたのげれ

ごめん
おかあさん！



おねえちゃん…

大丈夫？
すごい汗…

おかあさんがね
もうすぐ
おばあさんの家に
着くって！

たのしみだね！



また
あの時の夢：

そうだね

着いたら
久しぶりに
あの場所に行こ！

バック・ツ
ニ

おばあちゃん
ひさしぶり！

ほんと
ひさしぶりだ
よふたりとも
よく来たね！

おばあちゃん
どおか？

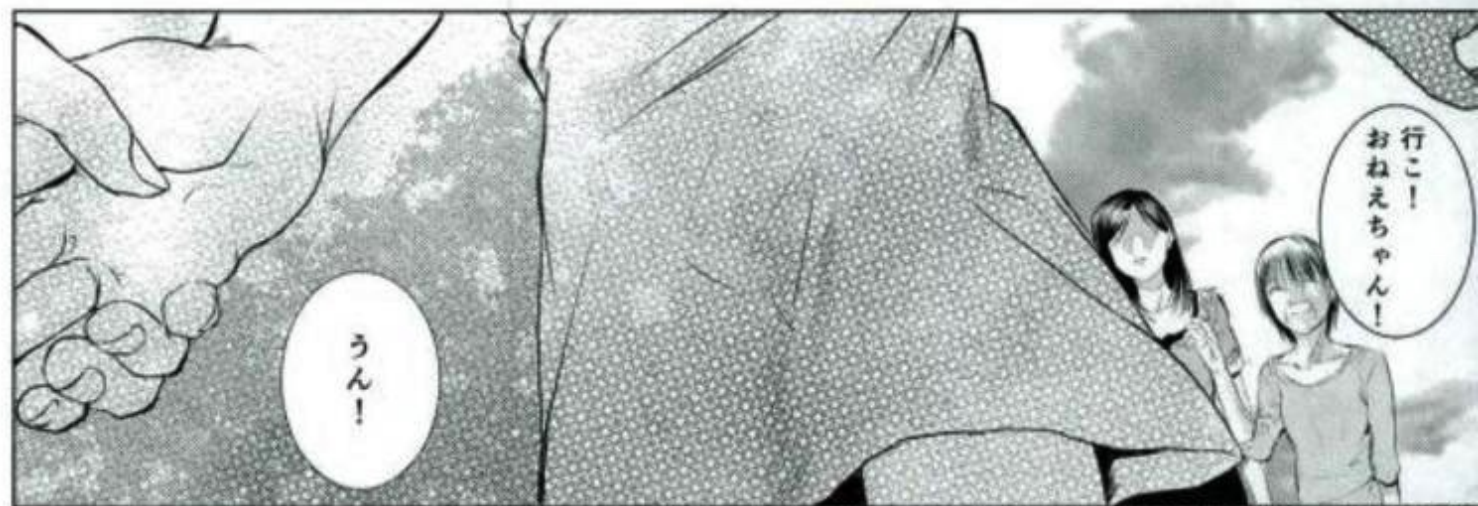
もちろんだよ！
こっちが妹の
滞で

おす
ごあい
ちゃん
正解！

！こっちが
姉だ！

おかあさん
またしばらく
お世話になるね

ここはあんたたちの家
でもあるんだから
そんな他人行儀じゃな
ゆっくりしていきな





あんたもね

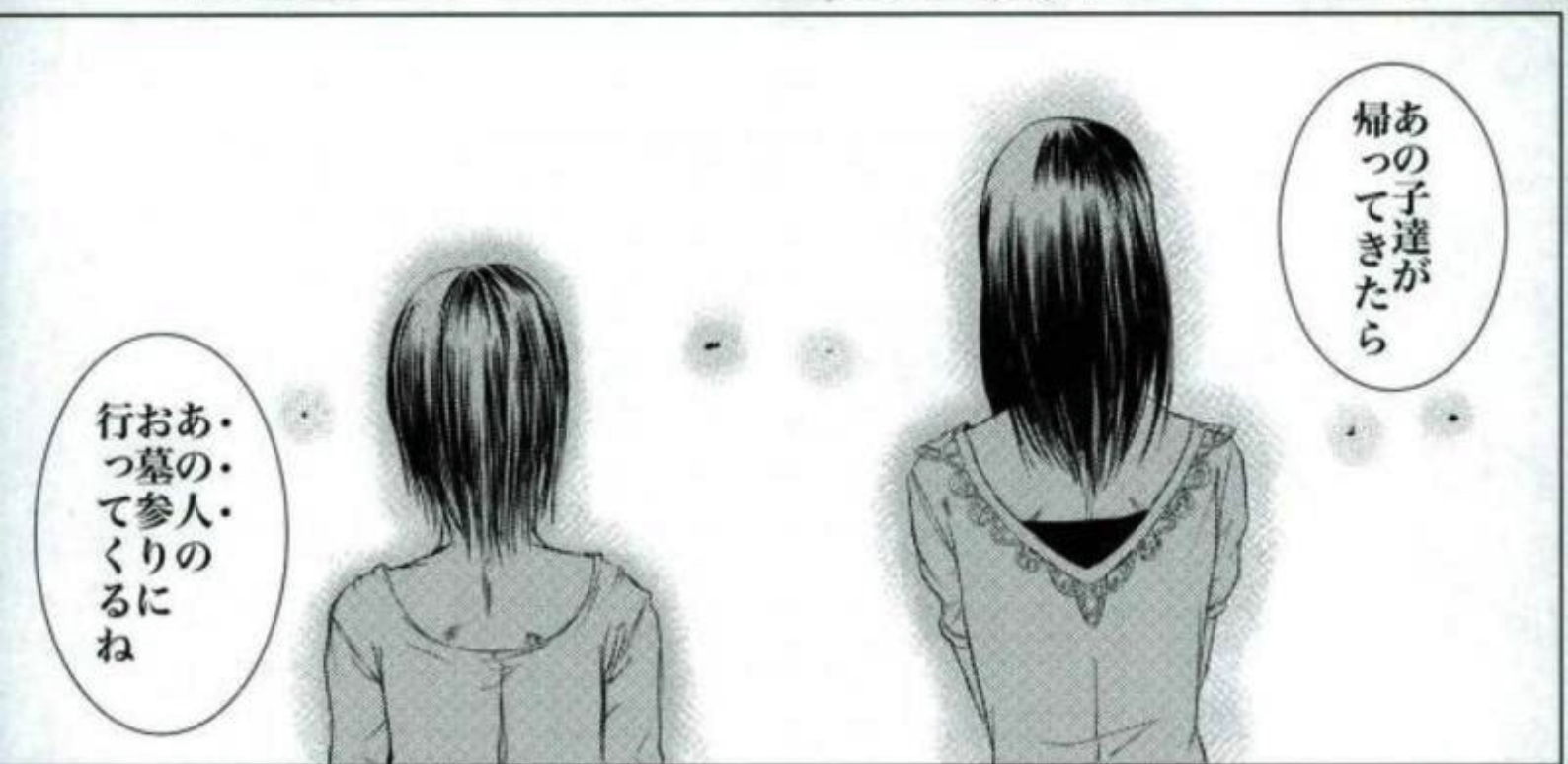
ザ

...



元気そうで
安心したよ

うん



あの子達が
帰ってきたら

あつ墓の
お参りの
行くね



強くなった
んだね...

置いてっ
ちやった
もんねえ...

一人だけ



ダムのも
お墓もこ
移そうか
思ってる
のちに

・そう

あの子たちが

生きてて
くれたから—

はおねえちゃん
はやくはやく！

待って…！

滑…！

早くしないと
おいてっちゃう
よ！！



よく



そっだね



ここで遊んだよね



此処も

もうすぐ
なくなっちゃうん
だよ



おねえ…ちゃん…？

おねえ…

ごめんなさい…

ごめんなさい…

おねえちゃん
わたしね

あのとぎ



おねえちゃん!?



どうしたの!?

おねえちゃん!!



おねえちや...っ



なに...??



まって……!

行っちゃダメ!

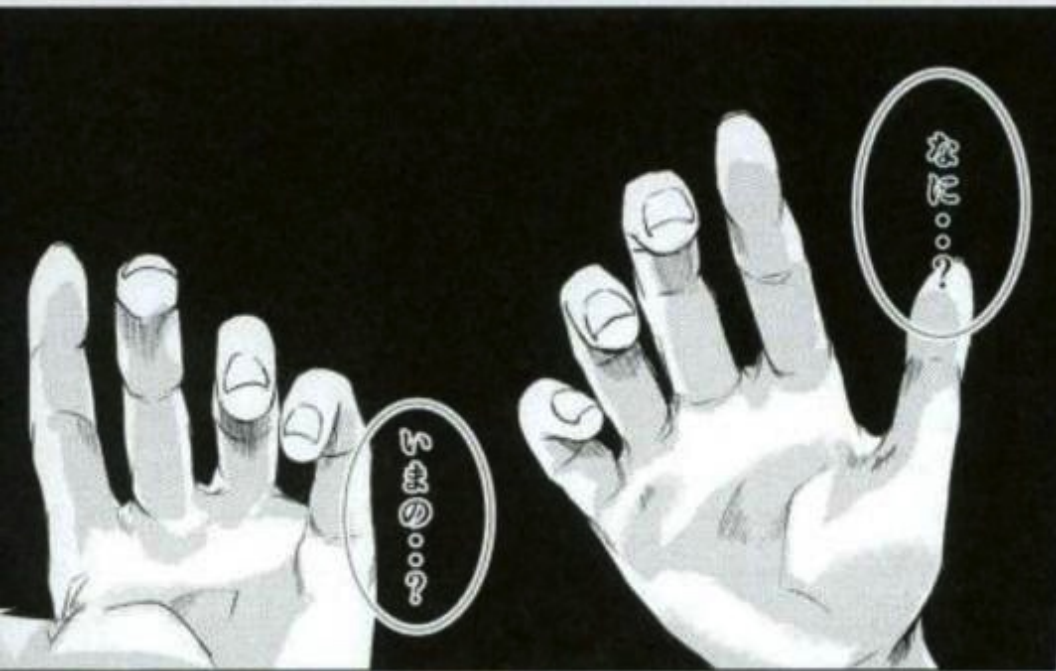


おねえちゃん……!!





え...?

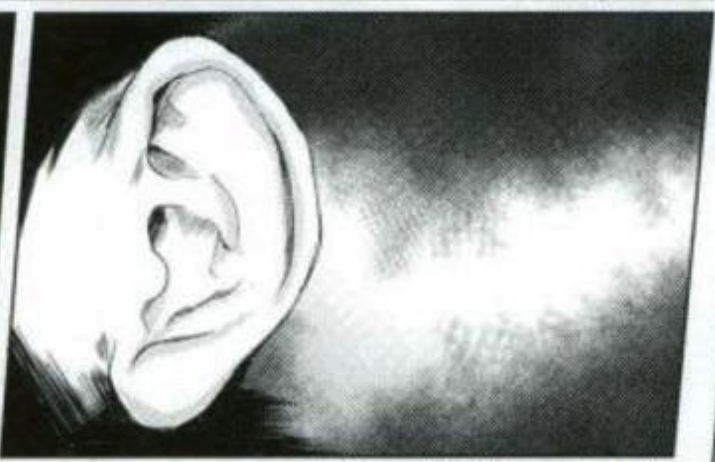


え...?

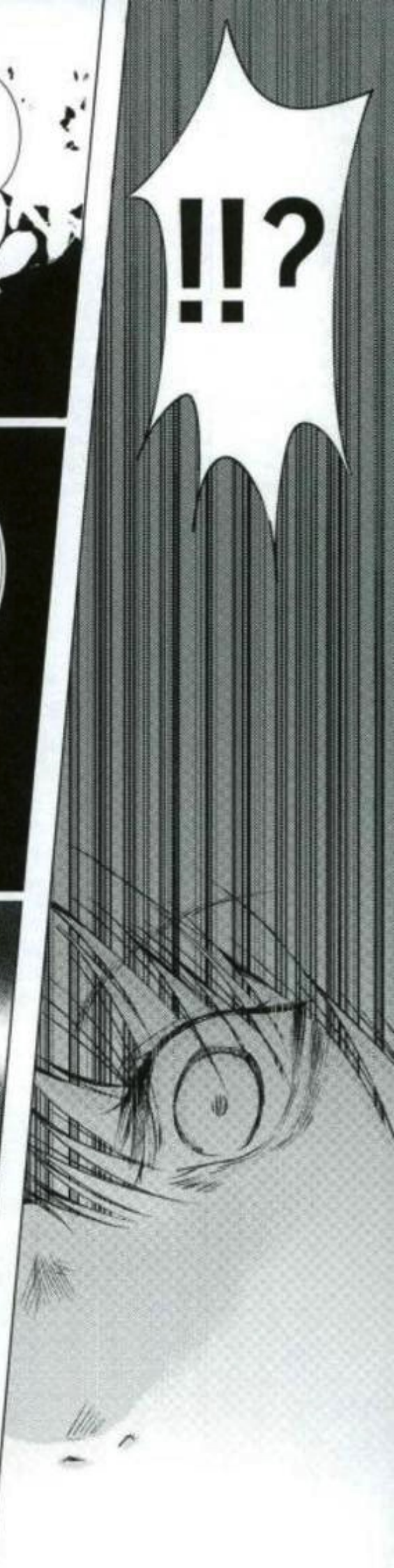
え...?



!

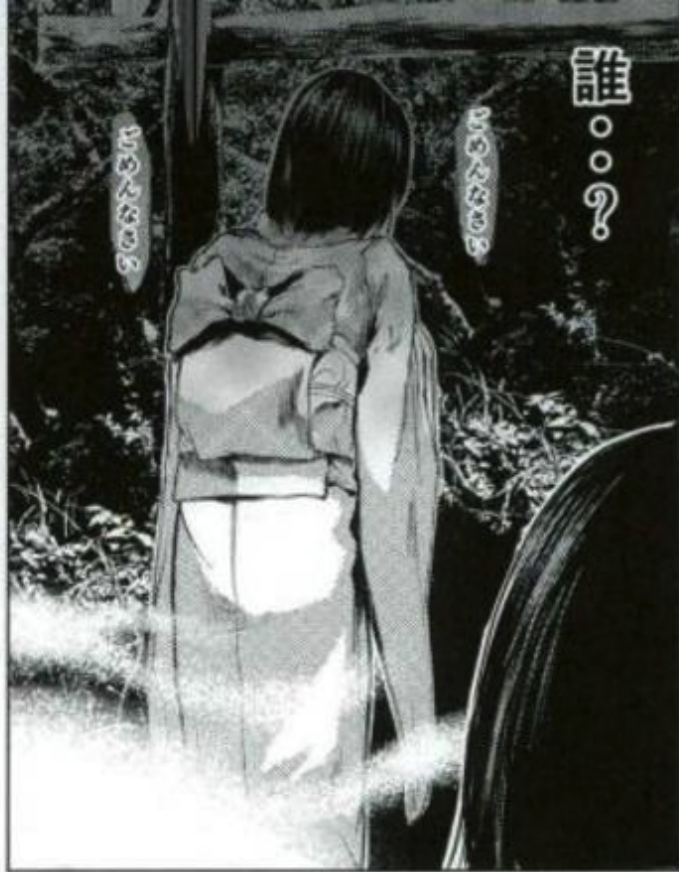


え...?



!!!?












A black and white photograph of a landscape. In the foreground, there are several traditional buildings with tiled roofs, partially obscured by dark foliage. A body of water, likely a lake, stretches across the middle ground. In the background, there are dark, silhouetted mountains under a sky filled with large, white, billowing clouds. The overall mood is serene and somewhat somber due to the monochrome palette.

零
～紅い蝶～

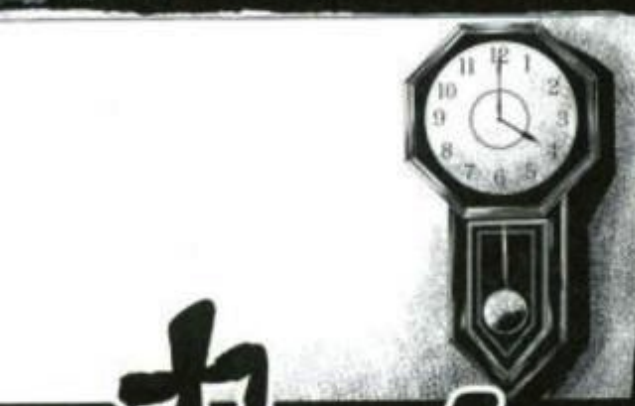


蟬こっち着くの
夜くらいに
なるって

そお…



うん：うん：
そうかい わかった
晩御飯は作っておくからね



あの子たちも
帰ってくるの

カッパ



コッパ

ちよつと
遅いわね！

カッパ

はおねえちゃん
はやく〜

うん!

トントン

どこかに
おでかけ?

おかあさん!
滞とおさんぽ

そお

最近よく
お外で遊ぶ
わね

うん!

あんまり
森の奥の方まで
行っちゃダメよ

おかあさん!

きつて
きまーす!

お母さんが小さいときね
よくおばあちゃんに
おどかさされたわ
「森に迷い込むと
消えた村に誘われるぞ」

爾はお姉ちゃん
なんだから
ちゃんとしてあげてね
滞を守って

約束よ

わたしが?
滞を……+

おねえちゃん
大丈夫…？

どうしたの
急に？

…
…
…
わからない

うん…

蝶がいて…
それで

気づいたら
ここにいて…

ここは？

昔、この辺りに
お祭りの日に
消えた村があつて

森に迷い込ん
人はその村に
さそわれるっ

わたし…
聞いたこと
あるの

ここが
その村



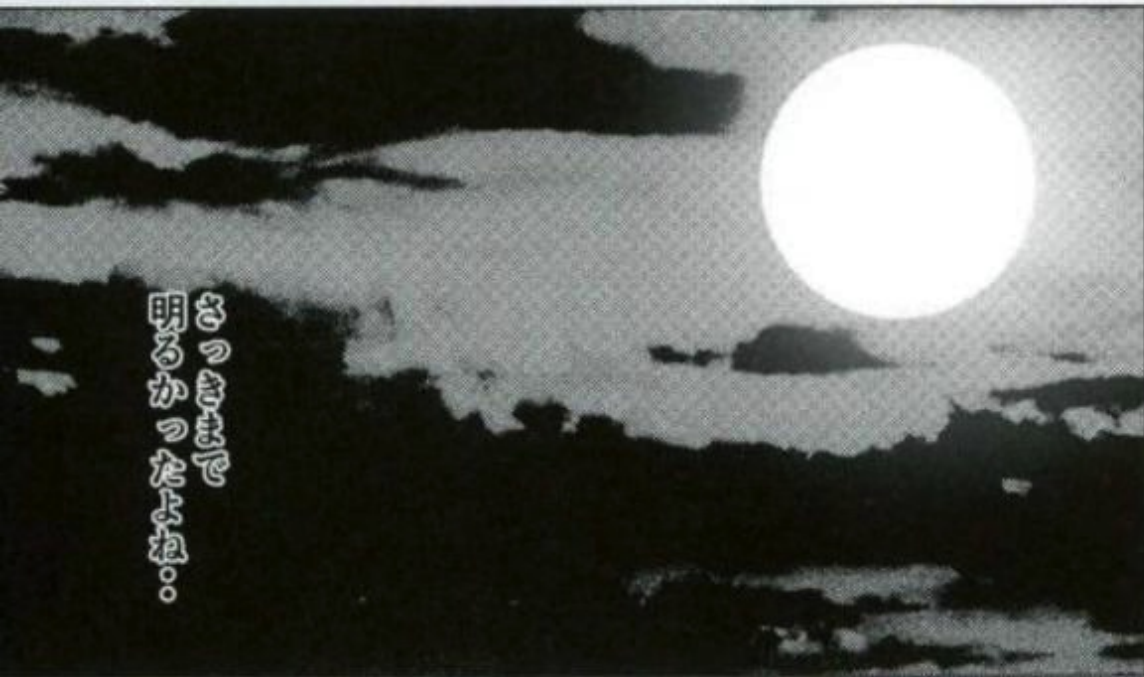
帰ろ・



とにかくさー



……



さっきまで
明るかったよね。



え……？



!



道が……

無くなっ
てる……

そんな……！
確かにこの鳥居
から……！

なんで
道がなくなっ
てるの……

どう
どう
滞……！

滞……

おねえ

下に行ってみよ

まだここが
その村って
きまつたわけじゃないし

誰かいないよ
探してみようか
他に帰り道も
きつとあるよ

誰か…?

誰か

ひと

鳥居の前で
泣いていた人が
いた

気がするの…

気がする？

わたしも蝶が
目の前にでてきて…
それで
その人を見失って…

さっきね

ううん！

村に
行ってみよう
おねえちゃん

確かに誰か
いたはず



お願い



お姉ちゃんを

守ってあげて



お母さんとの
約束よー



おねえちゃん
心配しないでね



わたしが
あなたと
からね



うん



!



なんだろう

なにか落ちてー



い



ごめん
おねえちゃん
大丈夫？

うん
大丈夫
ごめんね



っ

！



これって



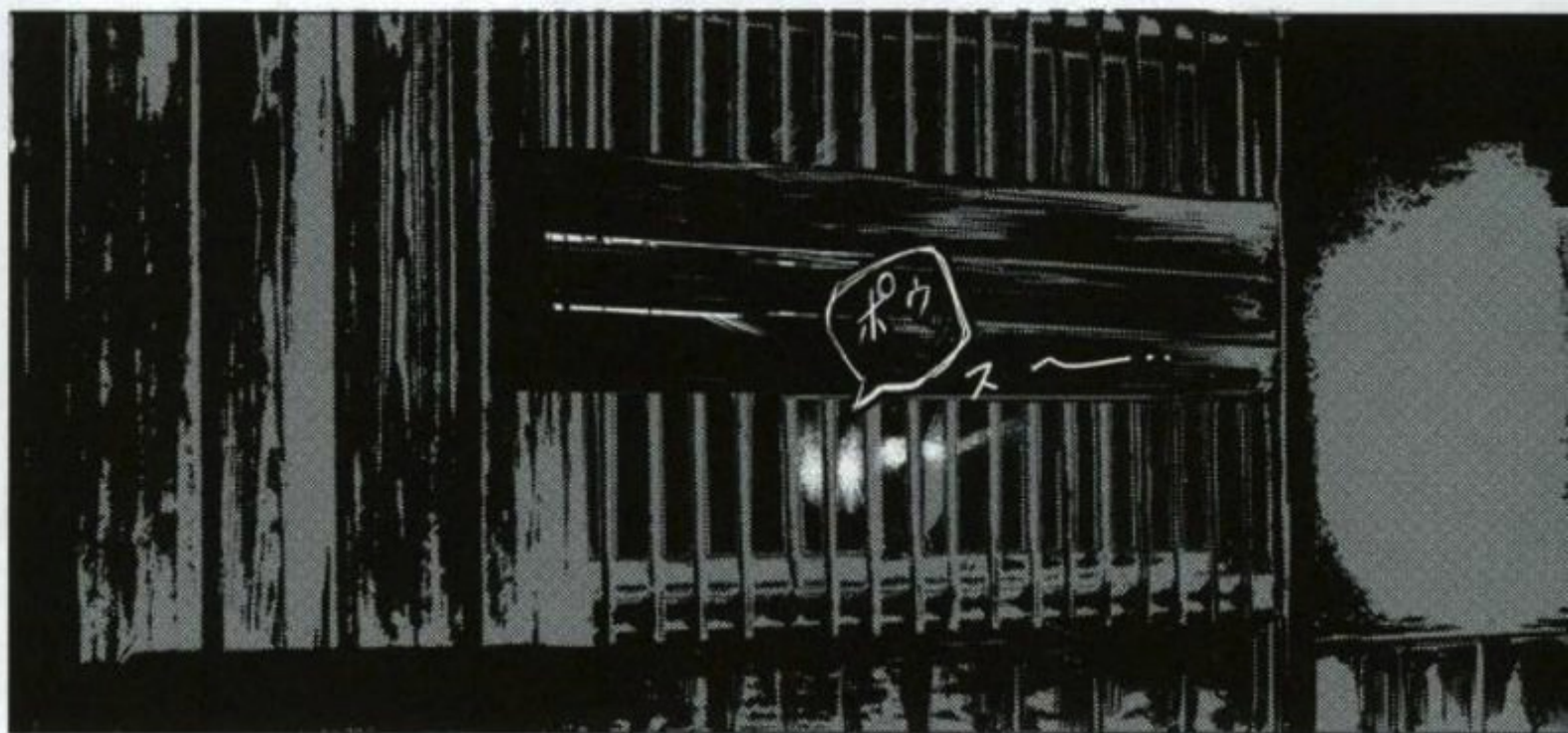
うん

それより
あれは
あれ



靴？
かばん





灯りが：











一ノ刻

地図から消えた村



おん...



誰も：

かないの



行
奥
っ
て
み



一ノ刻 「地図から消えた村」



真澄さん…

どこに行ったの？…

真澄さん…

地図から消えた村





真澄さん・

真澄・

さん・？

どこにいったの・・・

真澄さん・・・

コロシタクサ









すみません

また

びい びい

ザッ



ちょっと通してもらって
いいですか？



!



お中元

ねえさん!?

透と... 蘭が...!!

え...?



あれ…



滞…



光な
つて
か
る…

本
当
だ



この先に…

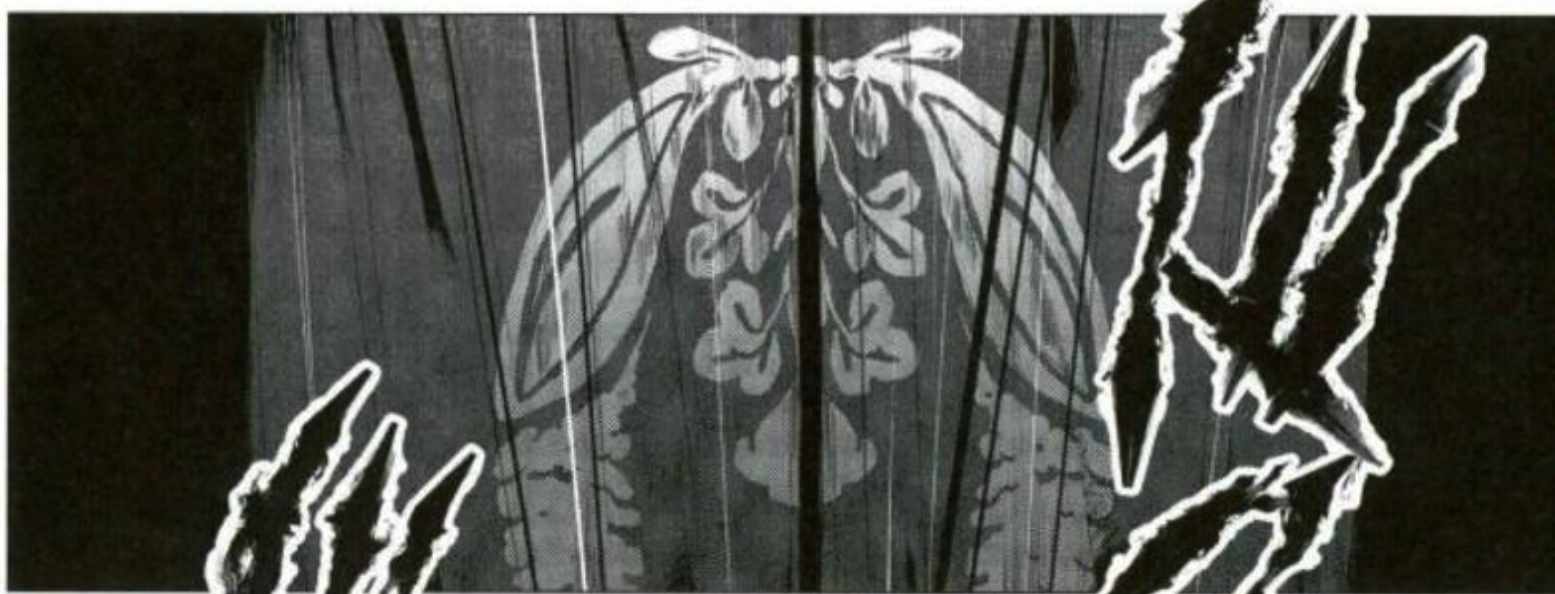
何
か…

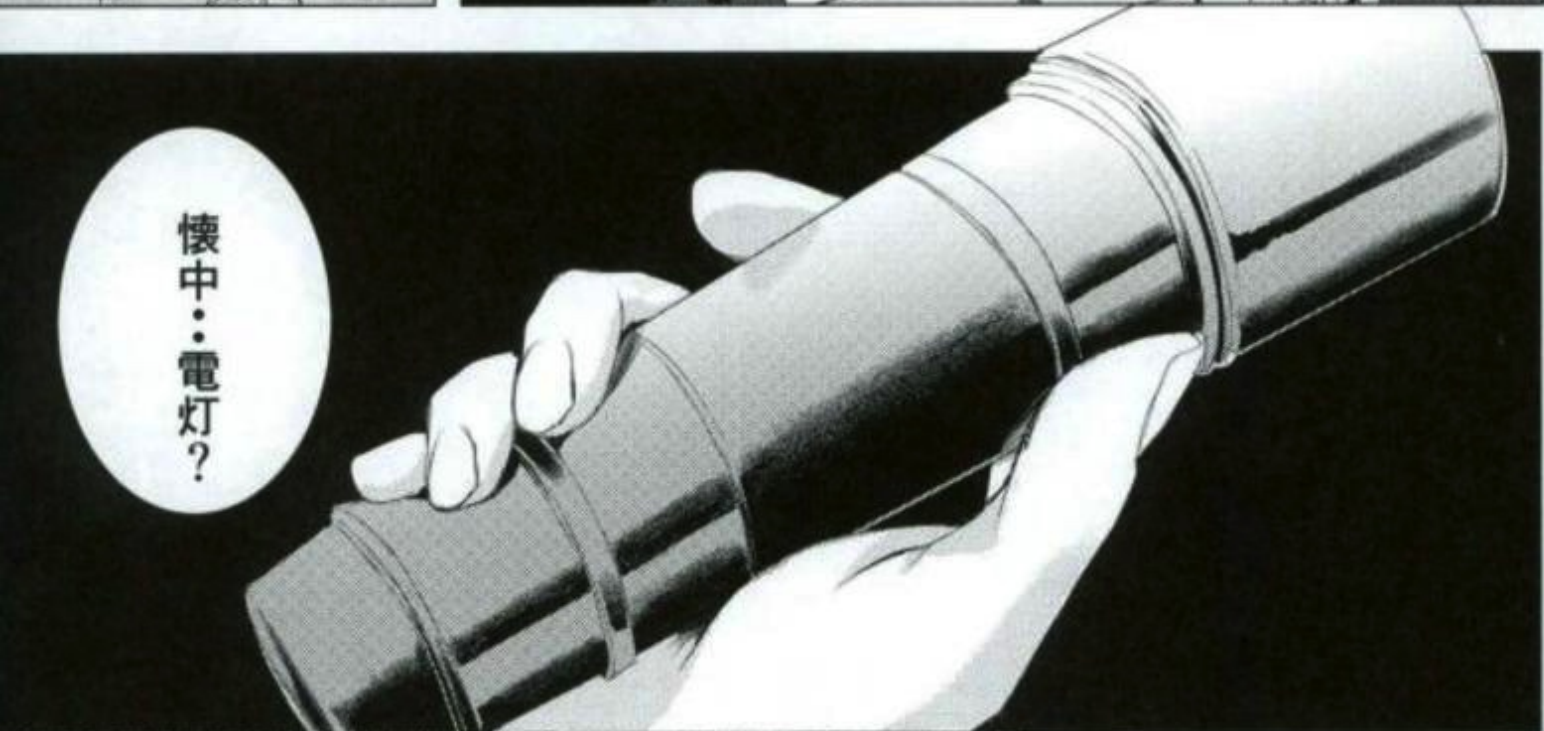


お
ね
え
ち
ゃ



さ
つ
き
見
え
た
映
像
も
あ
の
奥
だ
つ
た…







うん



ずっと探してた。

